

【広島県地域保健対策協議会調査研究報告】

皮膚疾患専門委員会

広島県におけるアトピー性皮膚炎患者に関する

実態調査(第2報) 年齢別有症率調査

出典	広島医学(0367-5904)55巻9号 Page753-760(2002.09) (http://search.jamas.or.jp/link/ui/2003161454)
著者	秀道広 他
調査地域	広島県
調査時期	2001年
調査対象	1歳6ヶ月、3歳、7歳、12歳
依頼数	1歳6ヶ月：938人、3歳：842人、7歳：596人、12歳：570人
回収率	幼児：96%、学童：97.7%
有効回答率	100%
診断方法	医師による診察
有症率	1歳6ヶ月： 9.0% 3歳： 10.6% 7歳： 10.9% 12歳： 10.9%
調査概要	広島県内の1歳6ヶ月、3歳、小学1年生、小学6年生のAD直接健診をした。幼児では大部分が軽症例であった。学童では女兒に多い傾向があった。併せて行ったアンケート調査は比較的信頼のおけるものだった。